

第9回検討会後の ヒアリング協力事業者への 質問・回答

第9回検討会後のヒアリング協力事業者への質問・回答

【Q1】 支援に携わる職員に対して、どのような育成(OJT、Off-JT)を行っているか。(西脇構成員)

【エス・エス・エス】 (竹浦氏)

- ・職員認定研修(社会福祉法、生活保護法、ガイドライン、基本的支援等)
- ・実務研修(支援記録、権利擁護、各種規程・マニュアル等)
- ・対人援助研修(ケースマネジメント、アサーション、アンガーマネジメント、障害特性等)
- ・外部研修(伴走型支援士、防火管理者、食品衛生責任者、救命技能認定、認知症サポーター養成講座等)
- ・資格取得補助制度(社会福祉士、精神保健福祉士等)
- ・ベテラン職員によるOJT
- ・エリアマネージャーによるサポート

【自立支援センター ふるさとの会】

(滝脇氏)

第9回検討会のふるさとの会提出資料9頁「○職員に求められる資質や要件等」をご参照ください。

【大東ネットワーク事業團】 (小林氏)

- (特非)ホームレス支援全国ネットワークが行っている、伴走型支援士認定講座を受講(施設長・施設長級は全員)。
- 生活困窮者自立支援全国ネットワーク・全国大会、各分科会に出席。
- 居住支援法人研修会に参加。
- 弁護士会・部会との勉強会・意見交換会。
- 障害者支援団体との勉強会を実施。
- 各種シンポジウム・勉強会に参加。
- 新人研修は上記のほかに施設長と2～3か月同行し実地研修。
- 毎日のカンファレンスの実施。

【湘南ライフサポート・きずな】 (川辺氏)

特段定められた研修などは行っていないが、必要な講習会、研修会などがあればその都度関係職員を派遣するようにしている。また、日常の業務に関して適時ミーティングなどを行い、問題点や解決方法などに関して話し合いながら、スキルの向上などを図っている。

【Q2】 特定の医療機関と連携を行っているか。行っている場合はその連携の内容。(西脇構成員)

【エス・エス・エス】 (竹浦氏)

※各地域の医療機関と連携あり

- ・入所相談
- ・入退院連携
- ・デイケア通所調整
- ・訪問看護調整
- ・意見書調整(介護・障害等)
- ・ケースカンファレンス

【自立支援センター ふるさとの会】 (滝脇氏)

特定の医療機関との連携ではなく、利用者一人一人のニーズに合わせて訪問診療を含めたコーディネートを行っています。ネットワークの一例としては、2007年から山谷地域のNP〇や医療機関、介護事業所と協力して、「地域ケア連携をすすめる会」(23の団体・個人が会員)の運営に携わっています。

【大東ネットワーク事業團】 (小林氏)

- 入院時、治療(病状)計画の説明同席。
- 手術への対応支援。
- 入院中のフォロー。
- 保証人にはなりません、キーパーソンとして支援。
- 緊急連絡先。
- 福祉事務所への報告・連絡・相談。
- 入院中の生活保護費の取り扱いについてのフォロー。
- 退院後のフォロー。
- 医療機関とは通院状況、服薬状況、生活状況の確認、助言連携を実施。
- 精神医療機関とは状況に応じて、緊急入院などの依頼ができるよう連携しています。
- 医療機関から退院後の居所確保の相談とその後のフォロー(通院・服薬・生活支援)依頼。
- オムツなどの代理購入、費用建て替えなど。
- 洗濯ものを預かり洗濯後届ける。
- 長期入院者への支援。
- 退院後の医療機関(療養施設など)へのつなぎ調整。
- 入院中・退院後の障害・介護認定申請の支援。
- 死亡時の事後、病院・福祉事務所・葬儀社との調整支援。

【湘南ライフ サポート・きずな】 (川辺氏)

特定の医療機関との連携というものは行っていないが、近隣の医療機関に関する情報収集などには常に努め、利用者の症状やニーズに合う医療機関などにつなぐような対応を行っている。